



# 広報みまた



あふれる……

希望と誇り

新しく夫人の仲間入りをした若者たちは、  
誇りと自信に満ちた表情で、期待に胸はず  
ませていました。  
式後、会場周辺では盛装の男女が、記念撮  
影をしたり、談笑したり、思い思いに喜び  
を分かち合っていました。

54/2月号

# 新春の青空に虹

## 消防出 始式



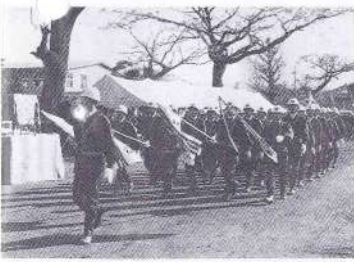
昭和五十四年新春の勇頭を飾る消防出始式は、去る一月十四日午前八時三十分から三股小グラウンドで行われました。

桑畑雅博団長以下百五十人の団員、消防ポンプ車二台、補給車一台、積載車七台、小型ポンプ七台、が勢ぞろいし、桑畑三夫町長を点検長として人員、服装、機械器具など、日頃の訓練と手入れの技を

規律正しい動作で点検を受けました。その後都城自衛隊のラッパ隊を先頭に消防自動車、積載車など各部がそれぞれ五本松児童公園前までの約一キロメートルのコースをパレード、町民に「火災から人命と財産を守ろう」と訴えました。続いて多くの町民が見守るなかで、一斉放水を披露、きびきびとした動作と水の放列に、見物客からどっと歓声があがりました。

特に都城消防署と当町本部との連携プレーによる、地上三十五メートルのはしご車からの放水には観衆からため息にも似た歓声が高まりました。

このあと再び会場を三股小に移し、講評、優良団員の表彰などが



# 二百六十七名 大人への誓い新たに

去る一月五日午前十時から、三股町武道体育館で成人式が盛大に挙行されました。

今年の町内成人者は二百六十七名(男百三十人・女百三十七人)で、男子はほとんど背広姿、女子は華やかなふん囲気につつまれていました。

桑畑町長が「あなたがたはわが国が今日において、時代の推移がいかにめまぐるしいものであるか。また、いかに科学や文化が向上しつづつあるかを、身をもって経験されていることと思います。しかし、又反面、国内外情勢は多くの問題をもかかえています。みなさん方はわが国の将来を担う、新たな自覚と責務を持つ立派な人間として成長されました。将来ますます知性をみがき、心身

を錬磨し、優秀な若人として、世界に限りなく伸びてください。」とあいさつ。

成人者を代表して仲町、有田真美さんが「盛大な成人式を挙行していただきありがとうございます。本日のおことばをしっかりと体得し、よき社会人として、心身の錬磨と知識技能の研鑽に努め、社会の一員として日本の発展と、豊かな郷土建設のために努力します。」と決意を述べました。

このあと成人者の意見発表が行われ、餅原 初森幸治君 上米 原口千代美さん、同 飯田昭子さんの三名がそれぞれ、今まで育ててくれた親への感謝、友人先輩に対するお礼、大人となったよろこび、そして責任の重要性を発表し、三人とも最後には「今までの甘えた気持ち捨てて、若者らしく自分の道を力強く歩いて行きたい」と結び参列者からの拍手を受けました。



写真説明  
上 成人式風景  
下 発表をした  
右から  
初森 原口  
飯田の三名



## 火の元は嚴重に!

春の全国火災予防運動は、二月二十八日から三月十三日まで行われます。この時期は空気が非常に乾燥し、山火事を始め全国的に最も火災発生が多いため毎年行われるものです。

本町でも昨年はボヤを含めて十件の火災が発生し二人の焼死者まででています。

このような悲惨な事故や、貴重な財産の損失を防ぐため、家族みんなで火に対する心備えについての話し合いの場を持ち、本町より一件の火災も発生しないよう、みんなて注意を呼びかけましょう。

・それぞれの持ち場で生かせ火の用心 (全国統一標語)



町婦人連協風景

行われ、正午すぎ終了しました。消防出始式の成績は次のとおりです。

- 第一位 第二部
- 第二位 第一部
- 第三位 第五部

## 体育祭りに全員参加を

二月二十五日 婦人連協  
町婦人連協協議会(会長大脇幸子)は、二月四日、定例会を開き郡生活研究発表大会、町婦人体育祭り等について協議しました。

町婦人体育まつりは、日頃家庭や社会生活の中で、主婦として、母として、そしてまた職業人として重要な役割を果たしている婦人が、健康の保持、体力の増進を図るために、相互に親睦を深め合い、婦人活動を推進しようとするもので、今年で四回目を迎え年々盛大になって来ています。

競技は地区対抗ですが「勝敗よりも融和を」を目指し、町婦人連協では全会員の参加を呼びかけています。また郡生活研究発表大会は二月十日町体育館で行われ、一、明るい家庭づくり、二、住みよい地域社会づくり、を目標に活動を続けている本町の婦人会を代表し、上の馬場婦人会の楠原幸子さんが発表しました。

## させない、しない教育から する教育、打ちかつ教育を (その1)

教育長 高松岩生

最近、少年少女の自殺、殺人が報道され、悲しくもいまわしいニュースが多い。少年期といっても五才以下の自殺は見られないが小学校四年頃から高校まで、しかも男の子が多い。この傾向は、学者や専門医等の論説を見ると、世界各国殆ど同じ傾向にあるようである。もともとわが国の場合は昭和三十二、三年頃に比較すると自殺する率は非常に少なくなっている。

原因として、ジャーナリストたちは、孤独感とか受容感といったものを挙げているが、心理学者や精神医等の見解は多少違いがある。生来何かの精神的欠陥(うつ病等)のあった者もあろうし、概して衝動的であるといわれている。原因としてあげられているものもあとのからの類推が多い。阪大前田教授(心理学)は「子どもは理由なしに自殺する」といわれている。もちろん、すべての子ども

がそうではなからうが、今日の傾向としてはこのようである。こうした衝動的で、ちよっと先生から注意されたとか、欲しいものを買って貰えなかったとか、友だちがいないのできびしいといったことで自殺するところ。衝動的で、自己中心的な、無気力な子どもも育つことについては、現代社会のあらゆる角度から検討すべきであろうが、教育の面からいえることは、大戦後、米国の要請によって改革された教育原理、その根本的欠陥を昭和三十年頃に、広島大学杉谷教授は看破され、鋭く警告されているのである。

即ち「現代日本の教育のめざす、ひとりひとりの子ども的人格、個性、自由、創造性を尊重する教育、それ自体はたいせつな教育目標であるが、その反面において、学力の低下、道義の頹廃、不徳、自己中心、犯罪、無気力を助長し、社会連帯感、責任、奉仕などの欠如を来たし、その自由は、放つたまま、無軌道化し、創造性は、利己的打算の利器となり、人格は他人の人格や社会全体を無視または軽視、無関心となり、その個性は社会共通性に立脚しない変人性に堕落して行く人間を輩出することになるであろう……云々。」

劣等感、欲求不満をおこさせない。緊張感のない、叱らない等々のあまりにも保護過剰の教育から、劣等感を自ら克服し、責任感、自尊心の強い自己に打ちかつて行く積極的な教育が必要である。

# 公営ポスター掲示場を設置

## 明るい選挙の推進に

一月二十九日開かれた臨時議会において、「三股町の議会議員及び市長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例」が、可決制定されました。

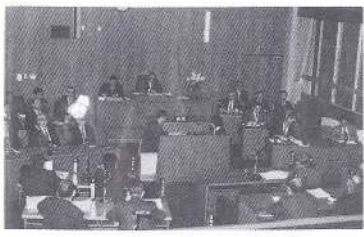
この条例は、町内の見やすい場所に候補者のポスターが、同時に見られる掲示場を、選挙管理委員会が公費で設置する。というものです。この条例の制定により、今年四月に行われる町議会議員選挙から、実施されることとなります。

町運営ではこのポスター掲示場を、町内四十三カ所に設置します。候補者は、この掲示場に選挙運動用ポスターを掲示します。町の、町民の皆さんは、一カ所で候補者全員のポスターを見ることができるようになります。

公職選挙法では、町議会議員及び市長の選挙運動用ポスターは、五百枚以内と規定されていますが、現職の議員は、当選会開会中において、この条例を遵守し、公営の掲示場以外には、ポスターの掲示をしないことを申し合わせ、全員自署捺印して、固い決意を披瀝しました。

この条例の趣旨が未端まで浸透し、正しく履行されることよって「明るく正しい選挙」は、更に強力に推進されることと思えます。町民の皆さんの御理解と、御協力をお願いします。

尚、空席になつていた選挙管理委員会委員の補充員が、当臨時議会で選出され、選挙管理委員会の構成は、次のようになりました。



臨時議会風景

- 委員長 久保 利政 (堀山)
- 委員 向田 提 (山王原)
- 小倉 ツミ (宮村)
- 中村 時広 (鵜池)
- 黒木 国雄 (谷)
- 黒木 正敏 (飯屋)
- 松山 重雄 (辰屋)
- 山田 タマエ (仲町)
- 事務局長 吉村 正秋

## 建設工事急ピッチ

### 老人ホーム 梶山小学校 唐の橋住宅

町制施行三十周年の記念事業として、現在建設中の老人ホーム及び梶山小学校の改築工事は、天候にも恵まれ順調に進んでいます。

老人ホームは、上米公園北側の丘の中腹に新設移転するもので、総工費約一億八千六百万円、昨年の八月着工し、三月二十日を完成目標に、現在急ピッチで工事が進んでいます。敷地面積約二万一千平方メートル(旧四千九百)建築面積約千四百平方メートル(旧九百)鉄筋コンクリート平屋建てです。

現在の老人ホームより改善されたことは、三人部屋を二人部屋とした事、洗面所と便所を居室内に設けた事、談話室を新設した事。



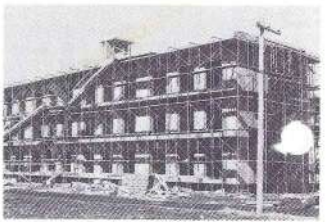
老人ホーム 国民年金積立金還元融資施設



更に、冷暖房設備を設置した事などが挙げられますが、とにかく新設地は公園が近くにあり、しかも町内は一望可及、環境も静かで、その上に敷地も広く、老人が健やかで、伸び伸びとして、ゆっくりくつろげる所です。

四月一日から入居予定ですが、老人ホームの人達はその日を、今から楽しみにしておられます。尚、定員五十名のうち現在四十六名入居されていますので、四名新入居出来そうです。詳しいことは老人ホームで相談して下さい。

一方五十三年度事業として、植木唐の橋住宅(伊藤ソーイング東)も総工費一億三千五百万円を投じて三月中旬の完成を目標に工事が進められています。中耐二種、三階建て一部屋は六畳が三間、それに台所、風呂、便所、玄関があり、住まいには快適な構造です。



唐の橋住宅 簡易生命保険積立金還元融資施設

只今入居者を募集しております。入居募集要領は次のとおりです。ご希望者は、町建設課建築係に申し込んで下さい。

- 一、募集期間 二月二十八日まで
- 二、入居予定 四月一日
- 三、家賃 一万七千円〜二万円程度
- 四、敷金 家賃の三カ月分以上



梶山小 簡易生命保険積立金還元融資施設

## 図書館だより

三股町立図書館

読書感想文の入賞者さま

三股町立図書館主催の第六回読書感想文コンクールの入賞者がこの程きました。応募数百八十三点、うち特選九点、入選十八点、入賞者は次のとおり

特選 ばばまりこ(三股小一年)

ますちひろこ(勝岡小二年)

萩原香里(宮村小三年)

瀬尾美由紀(同四年)

宮藤美和(勝岡小五年)

神宮司拓也(二股小六年)

木佐貫美香(三股小一年)

木佐貫美穂(同二年)

飯田加代子(同三年)

入選 いまむらゆかり(勝岡小一年) おおみねただし(宮村小同) やましたりょうこ(堀山小二年) こくぶひろみ(宮村小同) 村中亮太(三股小三年) 園田由紀子(同) 田中優子(勝岡小四年) 潤脇照久(二股小同) 栗野千香子(宮村小五年) 満丸淳子(長田小同) 谷口恵子(勝岡小六年) 鍋倉美美(堀山小同) 田和久(三股中一年) 上沖麻美(同) 瀬戸山加代子(同二年) 出水英子(同) 大山妙子(同三年) 上石奈津子(同)

審査は、第一回のコンクールから依頼している、東旧杵教育事務



特選を受けた生徒の皆さん

## 庁舎に絵画を寄贈

鵜池 福永明郎氏(45才)

鵜池の福永明郎さん(都城西小教諭)が去る一月六日、父勝盛さんと町長を訪問され絵画を寄贈されました。

福永明郎さんは三股中、泉ヶ丘高校在学中美術部に所属し高校三年の時県美術展に初出品、その後鹿児島大学美術科に進まれ、卒業後教壇に立たれ後輩の指導に当たっておられます。



「白い山」を背に福永明郎、町長、勝盛の各氏

福永さんは県美展、市美展に毎回出品され県美展は七回、市美展は三回それぞれ入賞、出品作品は全て入選というすばらしい成績を納められています。

「日々の生きかたの証しを確かめたい」という気持ちでほとんど毎日筆をとられ、その内容もどちらかと言えば風景画が多く、今回寄贈されたのも「白い山」と題し、国分市の火山灰に覆われた山が素材だそうです。

福永さんは本町の絵画愛好会「山城会」の一員でもあります。

# 住みよい地域づくり

## を目標して

### 公民館大会

地域住民の身近かな生活課題や、地域の課題を見出し、各種社会教育団体が相提携して、住民の自治能力を向上するために、二月四日、約八十名の各種役員が参加して三股町公民館大会が開催されました。午前中宮崎大学の中野重人先生の「住民の自治意識をめぐす公民館活動」と題した講演があり、午後パネル討議で各公民館の代表三名が、それぞれの立場で公民館の組織活動について意見を述べ、活発な討議が行われました。講演でもパネル討議でも「現在の社会においては心より物を重要視する傾向がある。」ことを指摘する意見が多く出されました。また組織面では、役割の分担が明確でなかったり、研修の場が足りないために組織が十分に生かされていない面もある。と言った鋭い意見も出されました。



有意議に終った公民館大会

公民館のまとめ役としての各役員は、事を行うのに反対もあり、かと言っておさえつけは出来ない。又無関心も多く、苦しい立場にある。損得を考えたり、投げやりでは役員は出来ない。など役員としての難しい面も数多く出されました。しかし地域住民の「こころ」を引出しはぐくみながら、連帯の輪を広げ、人間関係の円滑化を図り地域ぐるみでつくり、郷土づくりを進めようとの意見が出され、参加者も豊かな地域づくりを目指し、今後共各立場で努力することを誓い合い有意義な大会の幕を閉じました。

### お知らせ

#### ◎小、中学校

#### の入学日について

##### 一、小学校

(1)入学できる児童の生年月日  
昭和四十七年四月二日  
昭和四十八年四月一日  
までの間に生まれたもの

##### (2)入学期日

昭和五十四年四月十日 十時

##### (3)入学前の健康診断と知能テスト

トを受けていない児童は、早急に教育委員会に連絡下さい。

##### 二、中学校

(1)現在三股町内各小学校六年生に在学中の児童

##### (2)入学期日

昭和五十四年四月九日 十時

尚、小、中学校の就学通知書は、各該当家庭に送付済ですが、未着の場合は教育委員会まで連絡を。

#### ◎固定資産課税台帳の縦覧

地方税法第四百五十五条の規定に基づき、昭和五十四年度の固定資産課税台帳を、次のとおり、関係者の縦覧に供する予定でありますので、遠慮なく縦覧して下さい。

##### 一、縦覧期間

至昭和五十四年三月二十日

##### 二、時間

日曜祭日を除き、午前八時三十分

##### 三、場所

三股町役場税務課

##### ◎進学資金貸付

一、利用できる方  
高校、高専、短大、大学等に進学される方、又は父兄(勤労学生などに限られます。)で年収が五百万円以内

##### 二、資金の使いみち

入学金、授業料、教科書など進学に際し必要な資金。

##### 三、取扱期間

一月から四月末日まで

##### 四、融資限度

一世帯当り五十万円以内

##### 五、返済方法

月賦払(貸与時増額返済可)

##### 六、取扱窓口

国民金融公庫のほか、銀行、信用金庫、信用組合、農協

##### ※詳しいことはそれぞれの窓口におたずね下さい。

#### ◆所得税の確定申告始る

昭和五十三年分の所得税の確定申告と納税は二月十六日から受付が始り、三月十五日が期限となっております。

所得税は、個人が一月一日から十二月三十一日までの一年間に得た所得にかかる税金です。①商売をしている人や家賃、地代の収入のある人、土地を売った人などで所得の合計額が、配偶者控除や扶養控除などの所得控除の合計額より多い人、②サラリーマンで給与以外の所得が二十万円を超える人や、給与の年収が一千万円を超えるなど一定の要件に当てはまる人は、所得税の確定申告が必要になります。

所得の計算の仕方や申告書の書き方などで、分からない点や、もっと詳しく知りたいことがありましたら、お気軽に近くの税務署、又は税務相談室にお尋ねください。

◆青色申告のお勧め  
二月十六日から三月十五日までは所得税の確定申告の時期です。ところで、所得税の申告に、「青色申告」という制度があるのをご存じですか。事業所得や不動産所得又は山林所得について、毎日の取引を正確に記録し、その記録に基づいて申告をすれば、所得や税額の計算などでいろいろ有利な取

### 「税の知識」

扱いは受けるというのが青色申告の制度です。この制度には約四十種類の特典があり、また、帳簿を付けることによって、経営の合理化にも役立ちます。

これから青色申告を始められる方は三月十五日までに「青色申告承認申請書」を税務署にお出しください。

◆贈与と税金  
「贈与税」というのは、個人から財産をもらったときにかかる税金です。昨年一年間にも六十万円を超えるときは、税務署に「贈与税」の申告をしてください。

ところで、財産をもらうということは、めったにないことですが、家族の間で財産の名義を書き換えたり、親子の間で「ある時払い」の催促なしのお金を借りた場合なども贈与税の対象になりますのでご注意ください。

贈与税の申告と納税は二月一日から三月十五日までです。申告の仕方などお分かりにならない点がありましたら、お気軽に税務署か税務相談室にお尋ねください。

確定申告納税相談日  
三股町役場会議室 二月二十六日(月)から二月二十八日(水)まで 午前九時三十分から午後四時までお気軽に相談して下さい。



### みやざき国体いよいよ本番

#### 国体の意

スポーツの普及発達とアマチュア精神を高揚し、国民の健康増進と体力向上をはかり、併せて地方スポーツの振興と文化の発展に寄与すると共に明朗な国民生活を建設しようとする第一回大会は、戦後の生活がよい昭和二十一年京都を中心として開催。その後毎年各都道府県で行われ、今年には第三十四回にあたります。

#### 競技と会場

国体は夏・秋・冬の三大会に分かれ、夏季大会は三競技(水泳・漕艇・ヨット)、秋季大会は総合開会式とともに二十八競技(陸上・他)と公開競技(山岳・スポーツ芸術・高校野球)が行われます。宮崎国体では、九市六町二村、五十四会場に各都道府県を代表する二万名のスポーツマンが集い、親睦を深め、友好をたしかめながら日頃きたえた技術を競い合うことになりました。

夏季大会  
昭和54年9月16日～19日  
秋季大会



